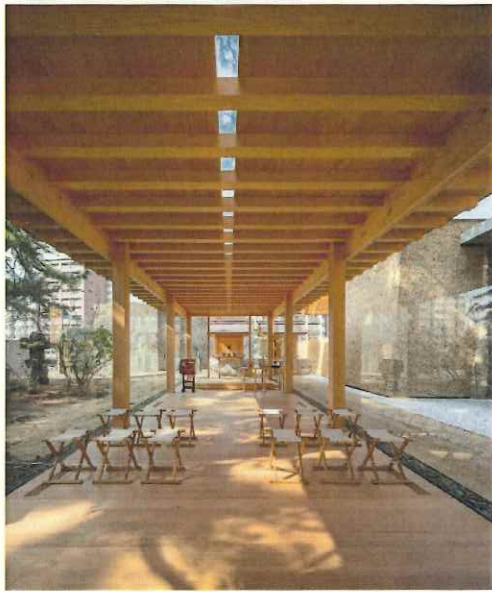




鳥飼八幡宮対拝殿
設計：二宮設計 写真：井上登

木挽棟梁のモノサシ
住まいと森林をつなぐ、これからの木の生かし方



杉岡 世邦 氏 講演会

TOSHIKUNI SUGIOKA SEMINAR

2024年

7月30日(火) 14:30 ~ 16:00

参加
無料

申込み：裏面「参加申込書」にご記入のうえ、
メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

パピヨン24 3階 第12会議室

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目17-1

講演概要



2021年のウッドショックは記憶に新しい。だが、それ以前から国産材利用の波は高まっている。木材利用促進法により、低層の公共建築物の木造率は2010年17.9%から2024年29.2%へと増加した。2022年の新設住宅着工戸数は、総戸数約86万戸のうち木造率は約56%、一戸建て住宅は約91%と一定の水準を維持。木材自給率も過去最低の2002年18.8%から2022年には40.7%へと上昇した。表層において、木造・木質化は活況を呈していると言ってよい。だが、深層はどうだろう。林業は従事者の減少と高齢化により疲弊している。製材工場数はこの30年で4分の1に減った。住宅における志向性も2003年の木造80.4%、非木造12.8%から、2023年には木造69.5%、非木造29.1%（内閣府世論調査）と木造離れを示している。逆説的ではあるが、近年の木造・木質化ブームは、森林と住まいにおける乖離がその背景にあるからではないか。

本講演では、2022年に実施した「森林（スギ人工林）と住まいに関する意識調査」を紹介しながら、「住まいと森林とをつなぐ、これからの木の生かし方」について、ともに考える時間を持ちたいと思っている。

講師プロフィール

「現代の木挽棟梁」 杉岡 世邦（すぎおか としくに）

有限会社杉岡製材所 代表取締役

1969年福岡県朝倉市生まれ、長崎大学経済学部卒、凸版印刷(株)に5年勤務後、家業の製材業・林業を継ぐ。社寺、文化財建物、住宅等の木材を一枚請けし、丸太から製材する現代の木挽棟梁。わが国で2軒しかない天然乾燥製材JAS工場であるとともに、独自で40度以下低温乾燥機を作り人工乾燥も手がける。2017年九州北部豪雨では被災した経験を持つ。木の文化発信のため2009年から2016年まで、西日本新聞にて『木挽棟梁のモノサシ』全15回、『住まいのモノサシ』全42回を連載。『住宅建築』2005年9月号巻頭特集ほか掲載誌、寄稿誌多数。2014年～福岡大学経済学部非常勤講師、2022年九州大学大学院芸術工学部博士単位取得退学。2023年度は協働した鳥飼八幡宮対拝殿が第10回福岡県木造・木質化建築賞の大賞に選考された。



参加申込書

こちらにご記入のうえ、

メール (sumaikyo-1952@fukuoka.email.ne.jp) または FAX (092-643-3737) にてお申し込み下さい。

送信者氏名：	TEL：
会社名（所属団体名）	（フリガナ） 参加者氏名

※個人情報の取扱について：

取得した個人情報は、当業務の目的の範囲内で利用し、その目的以外で利用することはありません。

- 地下鉄によるアクセス……地下鉄「千代県庁口」・4番出口と直結
 - ・福岡空港・博多駅方面からは「中洲川端」で乗り換え（エスカレーターで1番ホームへ）、貝塚行き（箱崎線）にご乗車下さい。
 - ・天神方面からは貝塚行き（箱崎線）にご乗車下さい。
- バスによるアクセス……西鉄バス停「千代町」前
 - ・博多駅からはセンタービル前E番乗り場にて（九大前・九大病院・吉塚営業所行き）にご乗車下さい。

<会場MAP>

